

◆初冬の洒水の滝と河村城址◆

日時:2019年12月18日(水) 天候:晴れのち曇り 22000歩 約16km

集合:JR御殿場線山北駅 10時20分

コース:山北駅→洒水の滝→河村城址歴史公園→浅間山→南足柄運動公園→朝日観音堂→龍福寺→大雄山駅

参加者:吉野(L) 常盤(SL) 勅使河原 吉越 平嶋 饗場 平石 熊坂 高橋文 小野里 山内 伊藤美 小島 福士 丹後 志村 畠 松野 三田 計19名

過去には各地の古城址を巡りましたが、この河村城址も二度ほど訪れたことがある場所。公園化されて綺麗になり、やや整備され過ぎた感あり。天守閣はもとより石垣もなかった中世の山城は、そのままの姿を忠実に残してほしいものです。

山北駅のある御殿場線は、昭和初期まで東海道線の一部でした。箱根越えが始まるこの駅に機関区が置かれたことで、当時は300人もの鉄道関係者が働いており、活気のある駅だったそうですが、今では列車本数も少ないローカル単線となっていました。しかし逆に見れば、富士を眺めながら自然豊かな列車旅ができる路線とも言えます。(乗鉄向きか?)

予定時刻には全員が集合、朝から青空が広がり風もなく暖かい中、駅横でストレッチをして洒水の滝を目指すことに。御殿場線を跨ぐ陸橋を渡ると、駅横の鉄道公園にある蒸気機関車D52が見えます。ここは桜の名所でもありこの機関車と桜の構図は撮り鉄の定番でもあります。暫く歩き酒匂川を渡り、滝沢川を遡った所に洒水の滝があります。滝の手前の赤い橋は通行止めで滝壺には行けず、マイナスイオンを吸い込んで河村城址へと向かいます。ただ城址下からの「水緑まんぷくコース」は結構な上り坂となり、どう見てもやや健以上では? 河村城址でランチをとり、午後の部は一路下界を目指します。運動公園で小休止! 駅近くの龍福寺では住職の話に耳を傾け、大雄山駅からは小田原行きに乗り帰路に着きました。

<フォトレポート 小島>



御殿場線の松田駅で合流。(皆さんは国府津経由?)



山北駅は二つ目の駅。ここは撮り鉄気取りで一枚!



山北駅に到着も何やら不穏な空気が……?



東海道線からのSuicaは×!(証明書を貰う人々)



駅前で本日のリーダー吉野さんからコース説明。



横のスペースをお借りし熊坂さんのストレッチでスタート。



朝から気温が高いのですでに上着を脱ぐ人も。



御殿場線を跨ぐ陸橋。(吊橋じゃないのに微妙に揺れる?)



ここは桜並木で春には賑わう場所。



酒匂川で見つけた鳥のような砂洲?



洒水の滝入り口。店が3軒ほどある。



滝の看板を支え持つ二頭の龍。



こちらには可愛い「幸せダルマ」も。

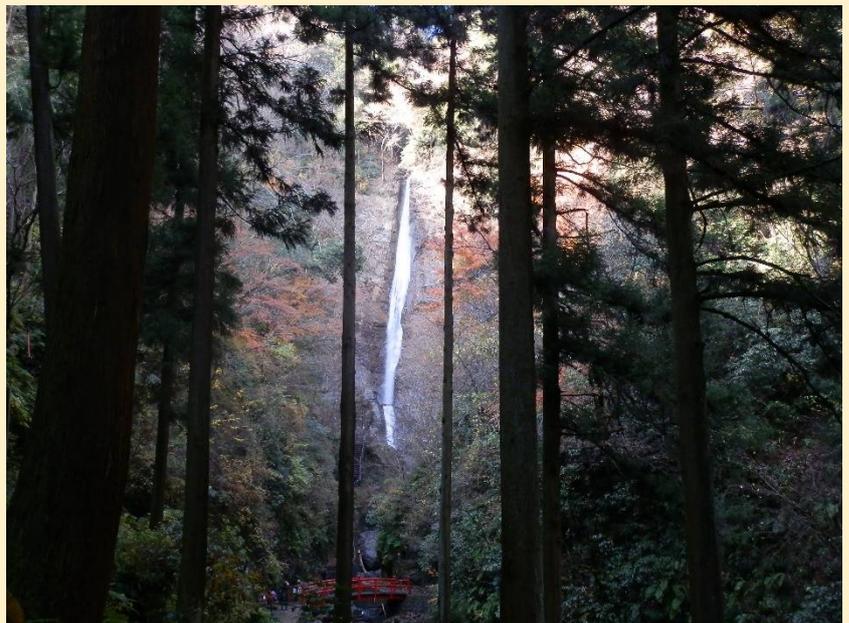


洒水の滝をバックに全員集合。以前は赤い橋を渡り滝壺まで行けたが、落石の影響で橋から先は通行止めになっている。

(この場所は谷間で暗く光がありませんので、人物に露出を合わせると滝が白トビ気味に・・・難しい場面です)



散策路から見た滝の全景。



展望台から見た滝。木々の隙間から見るようで展望台の意味なし！



この水、飲むと酒になるのでは？



東屋で暫し休憩。ランチ前におやつ！



こちらは直売所で何やら物色中。



石についた緑の苔と落葉のコラボ。



往きには気づかなかったアーチ。



キヤー！ コウガイビルのようです。



再び酒匂川を渡る。山々の紅葉も殆ど終わりでしょう。



前方の山の向こうが山北駅。赤い橋は東名高速。



河村城址への登山道。長い坂道が続くことに・・・



暖かな日差しが注ぐ落葉の絨毯を歩くがキツイ！



大きな堀切がある場所に出ました。堅堀のようです。



ランチ場所の河村城址歴史公園に到着しました！



公園内に出来た展望台でランチ。全員椅子に座っての食事も日向では暑いくらいで日陰が正解。



こちらは眺望の良い二階席を独占！



「上から泥を落とさないで～」と下界の声も・・・

〔河村城跡〕

現在の山北町周辺を支配していた河村氏が、山頂付近に砦のようなものを築いたのが河村城の始まりとされている。南北朝時代の記録に「河村城」と書かれているので、この頃には城があったと考えられる。河村城を築いたとされる河村氏は、平安時代末期に秀郷流藤原氏の一族、波多野遠義の子、秀高が現在の山北の地を領し、河村を名乗ったことに始まると考えられている。上杉氏、大森氏の持城となった時期を経て、最終的には小田原北条氏の武田氏に備えた出城として重要視されたが、1590年に豊臣秀吉の小田原攻めに際し廃城になったと考えられる。

(山北町HPより一部引用)



ランチも食べてパワーアップ！午後の部スタート。



ここで二手に。“四人姉妹”は楽な下道へ向かう。



片やこちらはキツイ浅間山コース！道なき斜面を這うように上る健脚グループ。



山頂には諏訪大神が祀られていた。



ここからは下界を目指して一気に下る。



やっと街並みが見えてきました。前方は松田方面。



別れた四人が下で待っていてここで合流。



酒匂川の岩流瀬橋に出た。



親柱にはこの川の名物、アユが泳ぐ姿が表現されています。



南足柄運動公園に到着。ここで暫く小休止とすることに。



出発時にリーダーから「今日は15km程度になります」と言われたがさすがに疲れた。



さあ出発。冬の陽に長い影がついてくる。



西へ向くと正面から陽を受けて眩しいくらい。



前方の山並みはどのあたり？ここから下り坂が続く。



まわりは南向きの斜面でミカン畑が点在している。



朝日観音堂を見学します。



変わった屋根の形・・・(崩れている?)



基礎の土壇が特徴の寺。



いよいよゴールが近づきました。



ここには駅家として関本宿があった。



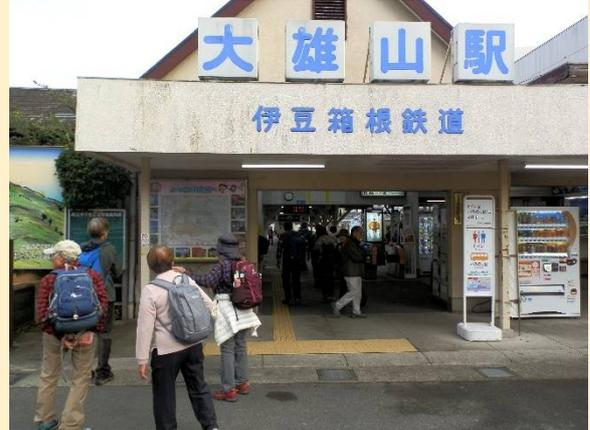
最後に龍福寺に立ち寄ることに。



境内をお借りしストレッチで身体をほぐす。



和尚から呼ばれたのでクレームかと・・・



大雄山駅に到着。お疲れ様でした！



大雄山線の車内はホッとした顔で溢れていました。

<本年最後に一言>

今年もウォーキングレポートでは、皆さんの様子と移り変わる風景を写真に撮り、思い出に残るシニアライフの一場面としてまとめてきたつもりですが、些かジョークがキツすぎて多々ご迷惑をお掛けしました。公式記録は機関紙があるのでお任せし、レポートではご覧になる方の肩がこらない内容にと思い、つい“ソフトタッチ”になってしまいました。(柔らかすぎとの声も・・・)
2020年まで残りあと僅か、来年は十二支の一番初めの「子年」です。足元には十分チュウいして歩くようにしましょう！！
では最後に謎かけをひとつ： 年末とかけて鯖と解く、そのココロは・・・が肝心！（お後が宜しいようで）

★皆さま良いお年をお迎え下さい！

END